

# 羅針盤



2017年9月13日(水) 第19号

＝ 9月のことば ＝

時間の使い方が下手な者ほど、真っ先に時間が足りないと不平を言い出す。

(ラ・ブリュイエール:

17世紀のフランスの思想家)

## 防災に関する講話と演習(9/6(水)「総合の時間」)

### 「東日本大震災で、ふくしまに起こったことー避難所運営の実際ー」

9月1日は「防災の日」。1923年に関東大震災が起きた日です。忘れ去りたいようなことも含め、その経験や教訓を後世に伝えるための日でもあります。東日本大震災から、6年半。私たちは何を教訓とし、何を後世に語り継いでいかなければならないのか。そういえば、7月に講演いただいた斎藤和也先生は「君たちは歴史の証人になるのだ」と話されていましたね。災害大国とも言われる日本。どこで災害に遭遇するかもしれません。どんな心構えが必要なのでしょう。

「総合的な学習の時間」を活用した取り組みとして、9月6日(水)、期末考査直前ではありましたが、東日本大震災の経験に学び、災害時の対応を考える場を設けました。外部講師として福島大学うつくしま

ふくしま未来支援センター特任教授の天野和彦さんをお招きし、「東日本大震災で、ふくしまに起こったことー避難所運営の実際ー」というテーマで講演いただき、後半は実際に避難所運営にあたる側に立ったという想定での演習を行いました。

震災時に小学校3年生だった生徒諸君にとって、困難な状況にあった避難所を立て直した経験に基づくお話は、とても意義深いものになったと思います。生徒たちの声を紹介します。



2組 安藤 駿之介 君

今回の講話を通じ、自分は人の持つ力はすごいものだと感じた。ビッグパレットふくしま避難所で起こった、カフェによる交流の場の誕生は一人の男性が自分からすすんでコーヒーを作りはじめたことから始まった交流の輪であった。熊本地震の際の西原村では、普段から村民同士の強いつながりがあったことにより、避難所でも明るく生活することができていた。これら



のことから、人が協力して生まれる力は、どんな災害でも乗り越えていけるのではないか、という気さえ起こさせた。

「災害大国日本」に住んでいる身として、いつ、どんな場所でも、被災者になる可能性がある。そんななかでも、自分が率先して行動し、同じ状況下に置かれた人々と協力し合い、悪い状況を乗り越えていけるような、そんな環境をつくれる人間になりたい。自分達には、それをできる力を持っているはずだ。

自分たちは、東日本大震災を体験した。その経験は、絶対に社会に生かしていけるものであるし、生かしていかなければならない。今日の講演を通じて、強くそう思う。

僕は今日の講演を通じて、本当に大事なのは「ものの復興」ではなく「心の復興」だということに気づかされました。いくらインフラが復旧しようと、そこに住んでいる人の心が丈夫にならないと意味がない、という話を聞き、今まで僕の中になかった視点だったので、少し意表を突かれたような感じだったが、納得できました。

震災後48回もの引っ越しを余儀なくされたり、福島県内での自殺の増加など、知らなかったこともあって衝撃を受けたと同時に、避難者の震災後の生活の深刻さを思い知らされました。僕は東日本大震災の時に、食器が割れたり、水道が止まったりと、それなりの被害を受けて、避難まではしなかったものの大変な思いをした。それ以上に苦しんだ方がいっぱいいると思うと想像するだけで胸が痛みます。

「人を救うのは人間しかない」「避難所は人権のかたまり」という言葉が印象に残りました。混とんとしていて、寝てばかりの生活だった避難所が徐々に変貌していき、自治が生まれ、笑顔を取り戻し、絆が芽生えてく過程を聞いて、人間の温かみや人間どうしの繋がりの重要性に改めて気づきました。

僕たちにとって、災害というのは、とても身近なものになっていると思います。もし、このようなことが起きたとき、今日の講話を生かせるようにしたいです。



今日の講話で、私は忘れかけていた防災の心構えを思い出しました。3月11日の東日本大震災で、雪が降る寒い中、不安でいっぱいだったあの時も、時が経つにつれて忘れてしまっていました。でも、いつどこで起こるかわからない災害に備え、防災の心構えと地域のコミュニティを大切にしたいです。

そして特に印象に残った言葉が2つあります。1つ目は、「人を救うのは人だ」という言葉です。人の悩みは人にしか話せないし、人にしか気づかないことが多いと思います。私も被災した時、

人の温かみにとても安心したことがあります。私も救われるだけでなく、誰かを救えるような人になりたいです。

2つ目は、「人の心が丈夫じゃないと本当の復興とは言えない」という言葉です。自治と交流で、人はそんなにも明るくなれるのかなと思いました。しかし、それは避難所の人々の自らの行動が変えたのだとわかりました。

私は、最後の『さすけなぶる』で、管理の対策をとってしまいました。私も、誰かがではなく、一緒にみんなで、という考え方で取り組みたいです。



9月	曜日	行事等	朝学習
13日	水	「学部学科ガイダンス」	国語
14日	木		総合
15日	金	後期教育実習スタート	数学
16日	土	(週末課題:国語・英語。数学は通常通り)	
17日	日	※英語は「完全攻略」	
18日	月	「敬老の日」	
19日	火	※課題・プログレス提出	英語
20日	水		国語
21日	木		総合
22日	金		数学
23日	土	(週末課題:国語・英語。数学は通常通り)	
24日	日		

※ 前期末考査が終わりました。振り返りを大切にしてください。終わったこと・・・、と水に流さないように。トイレではないのですから。

※ 今日先輩たちを講師に、「学部学科ガイダンス」がありました。大学での学びについて聞き、学部や学科の選択を考える上で参考になる、とても貴重なお話を聞きました。